

桐生 つねあき

鈴鹿市議会議員

鈴鹿市議会レポート Volume 5

平成生まれの
挑戦!!



経歴 現在**31歳** このはな保育園 施設長 / (一社) 鈴鹿青年会議所 会員

平成28年4月	衆議院議員島田佳和事務所 入所	令和3年5月	鈴鹿市監査委員 就任
平成29年9月	自由民主党鈴鹿市第二支部 入所	令和4年5月	自由民主党鈴鹿市議団 会派長 就任
平成31年4月	鈴鹿市議会議員 初当選		文教環境委員会 副委員長 就任
令和1年5月	自由民主党 鈴鹿市議団所属	令和5年4月	鈴鹿市議会議員 2期目当選
	地域福祉委員 副委員長 就任	令和5年5月	鈴鹿亀山地区広域連合議会 議長 就任
令和2年5月	総務委員会 副委員長 就任		

活動内容について

一部をご報告

街頭演説

— 三重県鈴鹿市 各所

定期的に街頭から想いのお訴えをさせていただきました。



▲ 平田町での街頭演説



▲ 白子駅前入口での立立ち

県外視察

— 青森県八戸市、東京都江東区

① 八戸ブックセンター

地方都市では、街の本屋さんが減少しています。八戸市では市が運営する書店があり、民間書店がなかなか扱う事ができない専門書などを販売しています。今後、鈴鹿市でも図書館の改修などの計画が始まりますが、参考にしながら提言していきます。

② New Education Expo 2023

東京有明にて、教育関係者向けのセミナーに参加し、デジタルを活用した教育の取り組みなどを勉強してきました。鈴鹿市では、教育のデジタル化がまだまだ進んでいない現状がありますが、先進的な自治体の取り組みを多く学べましたので、一般質問など行政への提言に繋げていきます。



▲ 研修会場の様子

白子港の流木撤去について

— 三重県鈴鹿市 白子地区

台風後には流木が多数漂着します。今年も自治会や漁協の方々にご指導いただき、共に撤去に向けて動くことが出来ました。また、市管理外の部分については、地元の川崎ひでと代議士にもご尽力をいただき、早急に対応していただきました。



海岸撤去前

撤去後



漁港撤去前

撤去後



▲ 自治会や漁協、行政の方々を交えての現地視察



▲ 川崎ひでと代議士にも現地を確認いただきました

デジタル化の推進について

Q 昨今、Chat GPTを始めとする生成AIが急速に生活の中へと浸透しつつあり、鈴鹿市ではこれまでに、RPAやAI-OCR・音声認識ソフトの導入などを進めてきたが、導入への課題が多くある。特に、デジタル分野に関する職員の育成については、体系的な研修体制が整備できていない点。生成AIに限らず次々と新たなデジタル技術が生まれ、行政事務の中に浸透させていかなければならず、そのための土壌としてデジタル人材の体系的な育成が必要と考えるが、現状と今後の取り組みについてお伺いする。

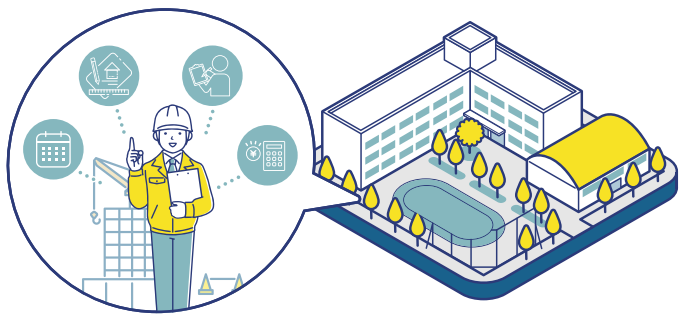


A RPAの導入に当たっては職員の負担感が多かったことから、人材育成の必要性を感じている。現状では、AI-OCRや音声認識ソフトなど、職員にとってハードルが少ないものから導入を進めているが、今後はより高度なデジタル技術を導入するにあたってデジタル人材の育成は必要と考える。これからは、業務内容に応じた具体的なOJTによる研修を実施すると同時に、地方公共団体職員向けであるデジタル分野の研修を積極的に活用し、職員の知識・能力向上へとつなげていく。



公共工事の入札について

Q 白子中学校をはじめとする、学校施設などの大規模改修や改築をこれから継続的に実施していく必要がある。公共建築物個別施設計画を着実に実行していくためには、入札前後の問題点を改めなければならない。入札に際して、公告までの間に図面や単価、参考数量や工期に誤謬が生じていることに対する今後の対策をお伺いする。また、誤謬が生じた際にも、特に契約後には「図面優先」という言葉で図面外の不整合などについて行政が責任逃れをしないように対応をお願いしたい。



A 今後、公共施設を改修や改築を行っていくにあたり、適切な工期設定や図面、単価や数量を算出する事は大切である。現在、公告までの段階で、図面や予定価格などに誤記や不整合が生じている場合があり、また適切な工期を設定できていない場合があります。これからはスケジュールに余裕を持たせながら、設計事務所の指導や市役所担当部局のチェック体制を強化するなどして対応する。また、図面が優先ということで、数量の見直しが困難になっている課題については、国交省の取り組みを参考にしながら解決に向けて検討していく。



鈴鹿亀山地区広域連合議会 議長に就任しました

介護保険事業と消費者行政などは、鈴鹿市および亀山市が共同で実施する地方公共団体の組合です。地方自治体と同様に、定例で議会が開かれ、予算や決算をはじめ、介護保険事業計画の策定や、被保険者の資格管理に関わることなどを議論しています。本年度は、議長として介護保険行政などについて議論を深め、適切な議事進行を行って参ります。

